

【 大会ルール 】

【型ルール】

- 各コートにて点数方式により予選を行い、上位2名から8名を選抜する。
選抜者は抽選によりトーナメントの組合せを決定する。
トーナメントでは2名同時に行い、終了後旗判定にて勝敗を決める。
- 演武する型は「松門会大会種目」に従い、出場する種目により定められた型の中から選択する。
有段者(少年、一般)の部においては、準決勝戦は直前の演武と違う型を演武する。
- 一般で使用する棒は男子900グラム以上、女子800グラム以上とする。
- 判定基準
 - ①型の中止や間違いがあった場合、古武術においては武器を落とした場合に失格相当となる。
 - ②突き、蹴り、受けの力強さ、立ち方や姿勢の正確さ。
 - ③型の流れや美しさ。
 - ④態度、気合、着眼、呼吸、残心。

【組手ルール】

- 試合時間
 - ①小学生から高校生 1分30秒
 - ②一般 2分
 - ③同点の場合は延長1分の先取りとし、それでも引き分けの場合は判定による。再延長なし。
- 勝敗
定められた防具部位に加撃し、先に3ポイントとるか、1本勝ちの場合。

呼び方	ポイント	技の内容	
有効	1	①面・胴に正確で有効な突き・打ち・蹴り(上段は除く)が入った場合。 後ろを向いた相手に対して、背面への寸止め。 ②軽い技であっても相手が無防備であったり、二度三度同様な技が入った場合。	
技あり	2	①上段の蹴りが入った場合。 ②相手がバランスを崩すような、強い突きや中段蹴りが入った場合。	
1本	3	①正確で威力のある突き・打ち・蹴りが入り、相手が倒れたりふらつくなど、試合続行が危険と判断した場合。 ②相手を入身や足払いから倒し、正確な突きや蹴りを寸止めで極めた場合。	

- 禁止技
 - ①防具以外への攻撃。
上段は、後頭部(耳より後ろ)、中段は背中への攻撃。
 - ②頭突き、金的蹴り、膝蹴り、ローキック、肘打ち、アッパー、バックハンド(中段は可)、掌底、投げ、つかみ、体当たり、後ろからの攻撃。

※罰則：反則注意(1回目の違反、相手にポイントを与える)
：反則負け(2回目の違反)
：反則失格(1回目の意図的な違反)
- 禁止行為
 - ①コート外に出た場合や無防備な状態、無礼な言動や行動また道徳に反する行為。

※罰則：警告(1回目の違反)
：反則注意(2回目以降の違反、相手に1ポイントを与えていく)
- 失格・負傷
試合続行ができない場合や、その原因が双方の責任の場合、監査役を含め協議し決定する。
- 防具の着用
面、胴、手、足のサポーターを着用する。
男子(小学5年生以上)は金的サポーターを着用する。